

知らなきゃ損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて
バックナンバー掲載中!!



木村 匡司

②6 インプラント(6) 手入れの重要性

残念な事にせっかくなインプラントを入れたのに、インプラントがダメになってしまふ事があります。世界的にインプラントの残存率は92%から98%と言われていますが、インプラント自体の性能の向上や手術の進歩により年々それを上回るように良くなってきているのにもかかわらずです。

中には予測できない骨の状態や体質によるものもあると思いますが、一番の原因はインプラントの手入れだと私は思い

ます。元から自分の歯の手入れが行き届かなかったからこそ歯を抜く事になってしまい、それを補うために入れるのがインプラントです。しかしせっか

く覚悟して入れても歯があった時と同様に手入れが足りなければダメになってしまいます。インプラントも手入れをしなれば歯周病になってしま

にさせた国の体制(歯の大切さよりも虫歯になったら安くすぐ治療できる体制ばかりを進めて虫歯にならないような予防体制を怠った体制)や、い

そがしさのあまり来る患者様の治療ばかり一生懸命で、虫歯にならないように予防を啓蒙しなかった私たち歯科医にも責任があります。

い、今後の予防を行い、自分の体は自分で守って健康な一生を送りたいと考える方々が増えてきました。そんな皆さんは、昔のように歯の痛みで苦しむ事もほとんど経験しないで済む生活をされています。

それでもここ10年ほどでかなり改善はされてきていると思います。患者様の中でも、インプラントのみならず治療後に定期的なメンテナンスを行なると思

もちろん、今まで歯で苦しんだことのないという方たちも定期的な管理をする事により一生自分の歯で健康的に噛める生活を送る事が可能です。

わかりやすく言えば「がんの予防」と一緒です。なつてからでは遅いですし、早期発見に越した事はありません。自分の歯も新しく入れたインプラントもかかりつけの歯科医院で定期的なメンテナンスを受け、噛める事から健康な一生を送れるように心がけましょう。